

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市幸スポーツセンター	評価対象年度	令和4年度
事業者名	・事業者名 シンコーススポーツ株式会社 ・代表者名 代表取締役 石崎 健太 ・住所 東京都中央区日本橋堀留町2丁目1番1号	評価者	地域振興課長
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	所管課	幸区役所地域振興課

2. 事業実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	令和3年度	12,481	13,563	11,259	11,413	11,199	11,822	11,897	13,769	12,984	11,832	12,690	13,760	148,669
	令和4年度	13,943	14,336	14,707	12,859	14,686	14,138	13,800	14,878	5,401	5,662	6,294	6,889	137,593

利用実績(人)

令和4年度は、年間を通じて新型コロナウイルス感染症対策として一部人数制限を実施したものの、11月までは前年同月を上回る実績であった。12月以降は市が実施する大規模工事のために大幅な営業の制限を実施したことから、利用人数が減少している。

※**新型コロナウイルス感染症拡大防止**のため、次のとおり**営業の制限**を実施した。

トレーニング室人数制限: 令和4年4月1日～令和5年1月3日: 37人 令和5年1月4日～3月31日: 45人
スポーツデー・教室: 原則制限なし(一部諸室の広さに応じて人数制限)

※**市が実施する大規模工事**のため、次のとおり**営業の制限**を実施した。

期間: 令和4年12月1日～令和5年3月31日 団体利用: 休止、スポーツデー: 17事業を休止(3事業を継続、1事業を教室化)
教室: 球技・バドミントン・バスケット・フットサル9教室を休止、28教室を継続(一部人数制限)

収支実績(千円)	収 入	指定管理料	37,237
		利用料金収入	22,614
		事業収入他	19,986
		補償費	7,189
		収入 計	87,027
	支 出	管理運営費	84,780
		事業費	12,319
		支出 計	97,099
	収支差額		-10,072

サービス向上の取組

- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止に係る各種制限、大規模工事に伴う事業の休止、利用料金の値上げ等に関する周知について、区と連携して的確に対応し、遺漏なく丁寧に対応した。
- ・新規教室の開設に積極的に取り組むと共に、大規模工事中でも最大限教室事業等の継続に努め、利用者のサービス向上に取り組んだ。
- ・教室事業のWEB申し込みを継続し、申込手続時の利用者の負担軽減に取り組んだほか、新規教室開設にあたってはイベント等で無料やワンコインの体験会を企画・実施することで、これまで施設を利用したことのない層に向けたきっかけづくりに取り組んだ。
- ・専門性を生かして幸区ポッチャ大会の立ち上げにおいて中心的役割を果たすと共に、大規模工事により団体利用等が休止となっている期間に地域の団体や障害福祉サービス事業所等からの依頼に対応し、地域に向向いてポッチャ体験を実施する等、機会を捉えてポッチャの普及啓発に積極的に取り組んだ。
- ・オリンピックによるバレーボール教室の企画・運営等を通じて、総合型スポーツクラブの育成支援に積極的に取り組んだ。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	(1)利用者満足度 【事業報告書2(11)】	利用者満足度調査を適切に実施しているか	6	3 (× 0.6)	3.6
		利用者満足度は向上しているか			
		調査結果の分析を行い、満足度向上のための具体的な取組に反映しているか			
	(2)事業成果 【事業報告書2(12)】	事業実施による成果の測定が適切に行われているか	6	3 (× 0.6)	3.6
		当初の事業目的を達成することができたか			
	(評価の理由) 【利用者満足度】 ・年1回の利用者満足度調査に加え、教室参加者に対して各期終了時にアンケートを実施し、運営改善に努めている。令和4年度は大規模工事による事業の休止直前に利用者満足度調査が行われ、期間も十分に確保できなかったことから、次年度以降は実施時期と期間に留意する必要がある。利用者満足度調査における「総合的な満足度」での「満足・やや満足」は81.5%と昨年度より低下したが、工事や利用料金値上げの影響を受けていると推察される。調査で寄せられた意見については対応の可否について検討し、可能なものについても優先度を設定し、より迅速な課題解決に努めている。 【事業成果】 ・定期的なモニタリングの機会に市と指定管理者のセルフモニタリングを確認し、意見交換やスケジュールの確認等を行うことで、運営の質の向上に向けて取り組んでいる。				

収支計画・実績	(3)効率的・効果的な支出 【事業報告書3(1)】	計画に基づく適正な支出が行われているか	6	3	3.6
		支出に見合う効果は得られているか		(× 0.6)	
		効率的な執行等、経費縮減の具体的な取組は為されたか			
	(4)収入の確保 【事業報告書2(2)・3(2)】	計画通りの収入が得られているか	6	3	3.6
		収入増加のための具体的な取組が為されているか		(× 0.6)	
	(5)適切な金銭管理・会計手続 【事業報告書3(3)】	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	4	3	2.4
事業収支に関して適正な会計処理が為されているか		(× 0.6)			
(評価の理由) 【効率的・効果的な支出】 ・経費縮減はサービス水準を落とすことなく取り組まれるべきであり、徹底的な省エネによる光熱水費の縮減や物品調達の精査等に取り組んだ。 【収入の確保】 ・空き施設・時間帯を的確に把握し、教室の増設に取り組んだほか、令和3年度に改装したスタジオを活用して工事期間中の教室事業の継続と収入確保に取り組んだが、物販収入を中心に計画どおりの収入が得られていない状況にある。 ・予算に対して、施設専用利用料は57%、個人利用料は79%、教室事業は72%、物販は41%の達成率となった。一部工事の影響があるものの、物販に関しては販促イベント等収入増加につながる一層の取組が求められる。 【適切な金銭管理・会計手続】 ・POSシステム、自動入金・集計システムの導入により、経理処理の正確性向上、時間短縮、金銭取扱リスクの低減に努めた。 ・本社の経営状態は負債比率84.88%、固定比率71.83%、流動比率147.54%と、安定的な運営が一定担保されていると考える。					
サービス向上及び業務改善	(6)適切なサービスの提供 (施設の利用提供) 【事業報告書2(1)・(4)・(8)】	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	3	3.6
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか		(× 0.6)	
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	(7)適切なサービスの提供 (トレーニング室を含む個人開放事業) 【事業報告書2(5)・(6)】	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	3	3.6
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか		(× 0.6)	
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	(8)適切なサービスの提供 (教室事業) 【事業報告書2(7)】	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	4	4.8
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか		(× 0.8)	
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	(9)適切なサービスの提供 (地域との連携、自主事業等) 【事業報告書2(3)・(9)・(10)】	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	4	4.8
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか		(× 0.8)	
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	(10)業務改善によるサービス向上 【事業報告書2(13)】	実施計画と実際のサービス提供に「ずれ」が生じている場合、原因究明に必要な取組が為されているか	8	3	4.8
業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか		(× 0.6)			
業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか					
(11)利用者の意見・要望への対応 【事業報告書2(14)】	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	8	3	4.8	
	意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)		(× 0.6)		
	利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
(評価の理由) 【適切なサービスの提供(施設の利用提供)】 ・開館時間の前倒し、閉館時間の延長サービスを継続して実施し、利便性の向上に取り組んだ。 ・新型コロナウイルスの感染拡大防止に係る各種制限、大規模工事に伴う事業の休止、利用料金の値上げ等に関する周知について、区と連携して的確に対応し、遺漏なく丁寧に対応した。 ・ふれあいネットの団体登録廃止に伴う「抽選会参加グループ登録」制度の新設にあたっては、利用者に対して丁寧な周知・説明を行い、円滑に運用開始した。 【適切なサービスの提供(トレーニング室を含む個人開放事業)】 ・卓球・バドミントンなどの個人開放事業の際、台やコートの長時間専有によるトラブルが発生しないよう、スタッフの声掛けや説明等を適切に実施すると共に、利用者の意見要望等を丁寧に聞き取り、不安なく利用してもらえるよう運用の改善に努めている。 ・大規模工事により大部分のスポーツデーを中止にせざるを得なかったが、高齢の利用者からの要望が高かった「リフレッシュ体操」については、事業継続について積極的に検討し、近隣に代替施設を確保して、高齢者の運動機会の確保に取り組んだ。 【適切なサービスの提供(教室事業)】 ・令和3年度末からイベント等での無料・ワンコイン体験会を企画・実施し、これまで施設を利用したことのない層に向けたききかけづくりに積極的に取り組み、令和4年度には7教室を新規開設した。 ・定員充足率は47%と、工事の影響による人数制限もあって令和3年度より低下した。 【適切なサービスの提供(地域との連携、自主事業等)】 ・地域との連携に積極的に取り組み、様々な機会を捉えて新たな連携先を獲得し、事業の幅を広げた。工事による事業の休止期間には地域に出向いてポッチャ体験を実施する等、900人を超える区民にアプローチすることができた。 ・自主事業については、主催大会等感染対策から実施のなかった提案もあるが、昨年度立ち上げた取組を着実に拡充すると共に、地域の関係団体と連携したポッチャ大会の立ち上げ、地域の寺子屋事業への参画等、前例のない取組について積極的に取り組んだ。 【業務改善によるサービス向上】 ・業務改善が必要な事項については、日々の連携の中で協議し、定例のモニタリングでも確認している。 【利用者の意見・要望への対応】 ・日々寄せられる意見要望に真摯に対応し、所管課への情報共有も適切に行われている。					

組織管理体制	(12)適正な人員配置 【事業報告書4(1)】	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	8	3 (× 0.6)	4.8	
	(13)連絡・連携体制 【事業報告書4(2)】	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか				
	(14)再委託管理 【事業報告書4(3)】	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか				
	(15)担当者のスキルアップ 【事業報告書4(4)】	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか				
	(16)安全・安心への取組 【事業報告書4(5)・5(5)】	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか (人員配置、マニュアル、訓練等) 緊急時に警察や消防など関係機関と速やかに連携が図れるよう、連絡体制を構築し、定期的に情報交換等を行っているか	8	3 (× 0.6)	4.8	
	(17)コンプライアンス 【事業報告書4(6)】	個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか				
	(18)職員の労働条件・労働環境 【事業報告書4(7)】	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	4	3 (× 0.6)	2.4	
	(19)環境負荷の軽減 【事業報告書4(8)】	環境に配慮した調達や業務実施が行われているか				
	(評価の理由) 【適正な人員配置、連絡・連携体制】 ・人員配置や緊急時の連絡体制は計画に基づき適正に実施されている。 ・月例モニタリングに加えて、随時面会や電話連絡により緊密に連携を取ることができている。 【再委託管理】 ・再委託管理について適切に実施されており、石川記念武道館との一括管理による経費削減に取り組んでいる。 【担当者のスキルアップ】 ・効率的な学習が可能なe-Learningを取り入れ、職員のスキルアップに必要な研修を的確に実施し、明るく親切的な職員対応が維持されるよう努めている。 【安全・安心への取組】 ・避難誘導訓練、救命救急訓練、風水害対応訓練を定期的に実施している。万一に備え各自が役割を認識しており「災害時等の応急措置に関する計画」を策定し、危機管理は適切に行われている。 【コンプライアンス、職員の労働条件・労働環境、環境負荷の軽減】 ・コンプライアンス、職員の労働条件等、適切に実施されている。 ・徹底した省エネの取組、照明のLED化等により光熱水費削減と環境負荷低減の取組を推進している。					
	適正な業務実施	(20)施設・設備の保守管理 【事業報告書5(1)】	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	6	3 (× 0.6)	3.6
(21)管理記録の整備・保管 【事業報告書5(2)】		業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。				
(22)清掃業務 【事業報告書5(3)】		施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか				
(23)警備業務 【事業報告書5(4)】		施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか	6	3 (× 0.6)	3.6	
(24)外構・植栽管理 【事業報告書5(6)】		外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか				
(25)備品管理 【事業報告書5(7)】		設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか				
(評価の理由) 【施設・設備の保守管理、管理記録の整備・保管、清掃業務】 ・施設設備の保守管理は計画どおりに実施されている。点検から把握した不具合等について速やかに対応し、市との連携により適切な維持管理が行われるように努めている。 ・修繕においては、自前に対応できるものは職員が自ら技術を習得し行うことで経費削減につなげるなど、常にコスト意識を持って取り組んでいる。 ・老朽化施設ながら丁寧な清掃が実施されており、清潔な環境が維持され、快適に利用できると利用者から評価されている。 【警備業務、外構・植栽管理、備品管理】 ・計画どおり実施しており、施設周辺での不審者やトラブルに関しても誠実に対応している。 ・基本的な日常業務を適切に実施、継続することにより、円滑に施設を運営している。						

4. その他加点

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
その他加点	(26)市の政策課題への取組 【事業報告書6(5)】	川崎市スポーツ推進計画やかかわさきパラムーブメント推進ビジョンに基づく取組の推進、及び地域包括ケアシステムの構築に向けた自助・互助の取組の推進			5
	(評価の理由) ・市区の政策課題を的確に把握し、専門性を生かしてパラスポーツ・ボッチャの普及啓発に積極的に取り組み、幸区ボッチャ大会の立ち上げにおいては中心的役割を果たした。工事による事業休止期間に積極的に地域に向かいボッチャ体験を実施する等、900人を超える区民にボッチャ体験を通じてアプローチすることができた。 ・子育て世代のスポーツ実施率向上と施設の利用促進を目的とした「スポマル！さいわい」について、連携策を拡充して企画を充実させ、1300人の区民の参加を得た。 ・総合型スポーツクラブの育成支援にも意欲的に取り組み、オリンピックによるバレーボール教室を継続開催し、参加者から高い評価を得たと共に、更なる企画の発展に向けた協議を進めている。 ・地域の寺子屋事業について準備段階から地域の団体と連携を密にして実行委員会立ち上げに貢献し、他の中学校にはない体験活動の担当事務局として活動している。				

5. 総合評価

評価点合計	67.4	評価ランク	C
-------	------	-------	---

6. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

・年1回の利用者満足度調査での「総合的な満足度」で「満足・やや満足」とした割合が81.5%となり、昨年度より低下した。利用料金値上げや大規模工事による事業の休止等の影響も想定されるが、全体的な改善と課題の把握に取り組む必要がある。

・令和3年度に改修新設した「スタジオ」を活用して、利用者ニーズへの対応と収入増加を目的として7教室を新設するとともに、工事期間中の教室事業・スポーツデーを最大限継続した。

・新型コロナウイルス感染症対策としての施設の利用制限、「抽選会参加グループ登録」制度の新設、利用料金値上げ、大規模工事による事業の休止等、運営に関わる制度等の変更が多い年度であったが、区と緊密に連携を図り、利用者に対して迅速・正確・丁寧な広報を実施した。

・大規模工事による事業の休止に関連して、高齢の利用者から継続要望の高かったスポーツデー「リフレッシュ体操」について、近隣町内会との連携により大人数が入れる会場を確保し、「ゆっくり筋力アップ体操」教室として高齢者の運動機会の確保に努めた。

・徐々に地域の活動が再開する中、区のスポーツの中核施設としての機能を発揮し、地域との連携に積極的に取り組んだ。特に工事期間中は、地域の施設・団体や障害福祉サービス事業所からの依頼に応じて出張してボッチャ体験を実施する等、機会を捉えてバラスポーツの普及啓発に取り組む、900人を超える区民がボッチャを体験する機会を得た。

・地域の寺子屋事業について、準備段階から地域の団体と意見交換を密にして立ち上げに貢献し、他の中学校にはない体験活動の担当事務局としての活動を開始した。

・e-ラーニング等の効率的なツールを活用して、職員のスキルアップに必要な研修を的確に実施し、明るく親切的な職員対応が維持されるよう努めている。

・「川崎市スポーツ推進計画」や「かわさきパラムーブメント推進ビジョン」等の市の施策を十分に理解し、専門性を生かしながら、地域との連携を重視して新たな取組に積極的にチャレンジしている。特に、幸区ボッチャ大会の立ち上げにあたっては、大会運営や協賛団体の獲得に中心的役割を果たした。

上記のとおり、1年間の運営を通じて高く評価できる点も多く、概ね良好な運営がなされていると判断し、公の施設の管理者として公平でバランスの良い運営を心がけていることを評価する。

7. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

・利用者の意見を踏まえ日々の業務改善に活かすことが施設全体の魅力向上につながることを常に意識し、顧客満足度調査や個別に実施するアンケートなどを有効に活用し、利用者のニーズを組み入れながらも公共施設という枠組みの中で最大限の効果が出せるよう取り組まれることを期待する。

・サービス水準を落とすことなく経費削減に取り組むように努めること。提案時の予算計画に比して収入が確保できていない状況があるため、工事期間中は一定の制約があるものの、提案時の予算計画の考え方を踏まえ、施設の効用を最大限に発揮して利用者の更なる増加と物販の充実を図ると共に、経費節減に努め、収支均衡を目指すこと。

・個人利用(スポーツデー・トレーニング室)の利用率向上、教室事業の定員充足率向上に向けて、引き続きの創意工夫を期待する。

・令和5年10月まで工事が予定されていることから、引き続き地域との連携による施設外でのスポーツ体験機会の充実を図ると共に、再開後を見据えた利用者拡大の取組を進めること。

・スポーツデーの新規種目開設、オンラインレッスン導入、運動型健康増進施設の認定等、提案書に記載された事業の実施に向けて、具体的な検討を進めること。

・施設の老朽化が進んでいることを十分に考慮して、適切な施設維持管理を行うとともに、利用者からの評価が高い清潔な環境維持に引き続き努めることを期待する。

・感染症対策は継続して徹底する必要があるため、所管課と連携して情報共有を図りながら、利用者が安全安心に利用できる環境づくりに努めること。

・「川崎市スポーツ推進計画」及び「かわさきパラムーブメント推進ビジョン」に基づき、高齢者、障害者、時間的制約の大きい子育て世代や就労者がスポーツの機会を得られるような運動プログラムやイベント等を地域の関連団体との連携により実施し、すべての人がスポーツに親しめる環境づくりについて、より一層注力されることを期待する。